

一般社団法人日本肝胆膵外科学会
第12回(2019年度)International Observership 制度
留学応募規程

1. 研修方法：希望する1施設で研修する。滞在期間は、施設がビザ取得手続きで求める基準額等の条件により決定する。
2. 研修施設：下記から希望する1施設を事前を選択する。

*施設が定める基準額を考慮した最大滞在可能期間をご参照ください。(2018年6月現在)

①Mayo Clinic (アメリカ) = Dr. Michael L. Kendrick (主に膵臓)

(最大滞在可能期間：約12か月)

②UCLA (アメリカ) = Dr. Timothy R. Donahue (主に膵臓、肝臓)

(最大滞在可能期間：約11か月)

③Johns Hopkins (アメリカ) = Dr. Christopher Wolfgang (主に膵臓)

(最大滞在可能期間：約6か月)

④Hepatobiliary Center, Paul Brousse Hospital (フランス) = Dr. Daniel Cherqui (主に肝臓)

(最大滞在可能期間：約12か月)

※公的機関からの補助金証明書の提示が不要のため、最大滞在可能期間は本学会および Paul Brousse Hospital との協議によって定めた期間

⑤Cleveland Clinic, Ohio (アメリカ) = Dr. Koji Hashimoto (主に肝移植)

(最大滞在可能期間：約12か月)

※英語能力(TOEFL iBT)の提示が必須【詳細は別紙参照】

3. ビザ：必要(採用決定後、渡航前に各研修施設担当者と連絡の上、手続きする)
4. 補助金：¥3,000,000
5. 研修内容：臨床リサーチ、および外科手術をはじめとする診療見学(診療行為は不可)
6. 保険：加入が必要(採用決定後、渡航前に各研修施設担当者と連絡の上、加入すべき保険を確認する)
7. 応募者の資格：
 - 1) 年齢：応募の時点で満32歳から満40歳まで
 - 2) 日本肝胆膵外科学会会員
 - 3) 日本外科学会専門医取得者
8. 留学成果報告：帰国後2年以内に、JHBPSに original article を投稿する (cover letter に本制度で留学したことを明記する)
9. 提出書類：
 - 1) Application Form (業績一覧表を含む)
 - 2) 誓約書
 - 3) 応募者が所属する施設の評議員の推薦状 (英文および日本語)
 - 4) (Cleveland Clinic を選択した場合のみ) 申請書類受付締切日から2年以内に発行された TOEFL iBT スコアレポート (写)

申請方法

1) 申請書類をダウンロード

ダウンロード開始：2018年7月9日（月）12時PM～

<方法>

本学会ホームページ (http://www.jshbps.jp/modules/about/index.php?content_id=16)

(「学会について」→「留学制度」→「募集要項」)

2) 申請書類送付

受付期間：2018年9月10日（月）～10月31日（水）17時（必着）

<送付先>

〒162-0065 東京都新宿区住吉町1-15 四ツ谷TTビル3階

一般社団法人日本肝胆膵外科学会 国際交流委員会 宛

選考スケジュール

1) 2018年11月中（予定）

国際交流委員会選考委員会で選考し、理事会にて最終選考を行う。

2) 2018年12月中（予定）

国際交流委員会より、最終選考で採用された対象者が希望する研修施設に人物紹介などの連絡

3) 2018年12月または2019年1月（予定）

本学会事務局より、最終選考で採用された対象者に結果を報告

4) 2019年7月頃（予定）

留学開始予定